

はじめカワニナなどの貝を食べて大きくなっていきます。ホタルの一生の中では幼虫の期間が一番長く、だいたい250日ほどで幼虫の姿で冬を越します。4月中旬から5月上旬になると、いままでも水中にいた幼虫は雨の夜上陸し、土手の土の中にもぐりこみサナギになります。サナギの期間は約40日で、6月上旬から7月上旬に新成虫が羽化してきます。

ホタルというと成虫の光の明滅によるコミュニケーションが有名ですが、卵・幼虫・サナギも光を発します。卵とサナギは刺激を受けた時に光ります。卵や幼虫・サナギが光ることに何か意味があるのかについてはよくわかっていません。

今までに富山県内でゲンジボタルの採集記録のある場所は、朝日町笹川・宇奈月町栃屋・宇奈月町赤田・黒部市東布施・魚津市西布施・大沢野町・砺波市杉木・高岡市中田ですが、実のところ県内のホタルの分布の様子はまだよくわかっていません。もしホタルを見つけられたなら、科学文化センターまでお知らせいただくようお願いいたします。一つずつの情報・資料の集積で分布の様子も明らかになってくるでしょう。



ゲンジボタル



ヘイケボタル

胸部斑紋



オス



メス

発光器



富山市科学文化センター

富山市西中野町3丁目1番19号 (〒930-11)

電話 富山(0764) 91-2123(代表)

昭和60年7月1日発行